4年	科目	工業英語Ⅰ	講義	後期	担当	鈴木尚人，山中仁
機械工学科		Technical Communication I	必修	1学修単位（講義30+自学自習15）		SUZUKI Naoto, YAMANAKA Hitoshi

授業の概要

日本のグローバル化の流れの中で科学技術英語の能力がますます重要になってきている．海外に限らず，今や国内においてさえ科学技術英語の能力が重視されるようになってきた．科学技術英語能力を身につけるためには，早い時期から科学技術に使用される英語を 学習することが必要である．本講義はTOIECテストを実施し，学生の学力別に2クラスに分けて実施する．そして，英語の基礎である第１～５文型，句，節，態等の文法をきちんと習得する．その後で，技術英文の文章読解を行う．さらに，自分の興味のあるテーマについて，箇条書きで英作文し，説明できるようにする．

本校学習・教育目標（本科のみ）		目標	説明
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度
		2	自然科学の成果を社会の要請に応えて応用する能力
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	○	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
		5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標（プログラム対象科目のみ）	実践指針（プログラム対象科目のみ）	実践指針のレベル（プログラム対象科目のみ）
D. コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力	(D2) 自己の研究成果の概要を英語で記述し、発表することができる。	(D2-3)自己の研究等に関する英語の記述や論文を7割程度理解でき、自己の研究成果等の概要を英語で分かりやすくまとめることができる。

授業目標

1．英文法の基本を理解できる．文章構造を説明できる．
2．工業英語の単語及び熟語を理解し，使用することが出来る．
3．技術文章の文法を把握出来る．技術文章の内容を理解できる．技術文章を読解できる．
4．工業英語を説明できる．工業英語の英作文が作成できる．
5．機械工学に関する専門分野の技術テーマを設定できる．その概要を箇条書きで英作文できる．その内容を英文でまとめることが出来る．(D2-3)

授業計画

第1回	ガイダンス，TOEIC-L	授業のガイダンス
第2回	クラス分けテスト	TOEIC模擬テスト（リーディング）
第3回	文法基礎	教科書第１部文法編：第１～５文型，句，節，態等 教科書第２部基礎編：No1～３０ 授業は2クラス（アドバンス，ベーシック）に分けて実施する． 各クラスの英語の習熟度に合わせて，文章読解の代わりに文法問題の演習を行う．
第4回	文章読解	
第5回	文章読解	
第6回	文章読解	
第7回	文章読解	
	中間試験	
第8回	文章読解	
第9回	文章読解	
第10回	文章読解	
第11回	文章読解	
第12回	文章読解	
第13回	文章読解	
第14回	技術英作文	技術テーマの英作文
	後期末試験	
第15回	まとめ	学年末試験解説，授業アンケート

評価方法と基準	中間試験と学年末試験の平均を80%，提出課題を20%の重みとして評価する。2クラスの評価は各クラスの平均点を考慮する。授業目標4（D2-3）が標準基準（6割）以上で、かつ科目全体で60点以上の場合に合格とする。評価基準については、成績評価基準表による。
教科書等	機械系の工業英語（機械系教科書シリーズ9），牧野州秀・生水雅之著，コロナ社
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。